

HQR011-10

会場:展示ホール7別室3

時間: 5月28日11:30-11:45

沖積粘性土の動土質特性の堆積環境依存性に関する実験的研究

Dynamic properties of soils of the Chuseki-so from a sedimentary environments viewpoint

竹村 貴人^{1*}, 木村 克己³, 川本 健², 濱本 昌一郎²

Takato Takemura^{1*}, Katsumi Kimura³, Ken Kawamoto², Shoichiro Hamamoto²

¹日本大学文理学部地球システム科学科, ²埼玉大学工学部, ³産総研

¹Nihon Univ., ²Saitama Univ., ³GSJ, AIST

本研究では、埼玉県春日部市の超軟弱粘性土を対象に、その基礎的な土質特性を評価するために各深度の試料を使った基礎物理試験、化学特性測定試験、標準圧密試験を行った。また、同試料を使い、関東大地震と同程度の地震動が与えられた時の剪断剛性の低下、過剰間隙水圧の上昇による有効応力の低下などを評価するための繰返し三軸試験を行った。また、ボーリングコア試料や試料から得られる物理量から簡便な方法でせん断剛性率を評価する手法の開発を行った。その結果、地盤の地震動特性の評価として、ボーリングコア試料含水比は最低限の情報として必要であり、可能であれば、さらにベンダーエレメント試験を行うことで原位置地盤のせん断波速度に関する情報を得ることができると言える。

キーワード: 沖積層

Keywords: Chuseki-so